

平成29年度地域振興推進費活用事業一覧

上田地域振興局

課題区分	事業名	事業概要	事業費 (千円)	実績・成果	担当課
横断的な 課題	千曲川ワイン振興プロジェクト	ワイン用ぶどう生産者交流会を開催し、生産者同士の交流や情報交換につなげるとともに、千曲川ワインバレー東地区のパンフレットを作成し、知名度向上を図る。	2,120	交流会を通じ、市町村を越えた生産者や研修生の交流や情報交換が図られた。ワインパンフレットについては1万部を作成し、ワイナリーや市町村、銀座NAGANO等に設置することで、千曲川ワインバレー東地区の知名度向上につなげることができた。	企画振興課 農政課
	農産物直売所の魅力アッププロジェクト	管内直売所を紹介したマップの作成や直売所紹介記事を新聞に掲載する。高品質な農産物の提供等を図るため直売所研修会を開催するほか、経営コンサルタントによる現地調査を実施する。調査結果を踏まえた指導も含め、直売所の魅力アップのための交流会を開催する。	1,343	昨年度の真田丸効果の反動で、直売所の売上額、来場者数については前年対比では減少となっているが、PR活動の成果により直売所を初めて訪れる客が増えた。直売所研修会や交流会の開催等が直売所の意識高揚につながり、地域を挙げて直売所の魅力向上に取り組む動きがみられた。	農政課
	東信地域食材自給圏消費実態調査	じゃがいも、小麦、大豆について、消費者調査（消費者が加工品購入時に原料原産地、価格、地元産等を考慮するか）及び小売業者調査（販売に当たり産地表示を意識するか等）を実施する。 ※佐久・上田地域振興局との共同実施	500	調査を実施し、東信地域内の加工業者、小売業者、販売店等の販売実態や意識を把握することができたので、今後観光地の宿泊施設に対してのマーケティング戦略に生かすとともに、地域産品の消費や地域内循環の推進に向け、業者の販売意向に沿った商品開発、原料選定等を推進していく。	農政課
	上田地域食材試食・商談・販売会の開催	農畜産物生産者・加工業者と管内宿泊施設、飲食店等との商談会や、一般の来場者を対象とした販売会を地域食材を活用した料理の試食を提供しながら実施する。	191	出展者として9事業者、買い手として9事業者が商談会に参加し、約300名の一般参加者が来場した。商談は成約見込件数が7件、継続交渉件数が5件あり地域食材の取引につなげることができたほか、多くの地域住民の来場があったことから地域食材の知名度向上に貢献した。	企画振興課 農政課 商工観光課
	地域食材を活用したワイン・日本酒に合う料理の開発	「千曲川ワインバレー特区連絡協議会」を構成する8市町村を代表する食材を一つ以上使用した料理を開発し、ワイン会で提供する。	545	地域食材を活用したワイン・日本酒に合う料理の開発及びレシピ集の作成を長野県調理師会上小支部に委託し、料理23品を開発した。レシピ集は700部作成し、管内旅館・ホテル、飲食店等へ配布したほか、1月22日に上田市で開催したワイン会において開発した料理を提供し普及を図った。	企画振興課 農政課 商工観光課
	上田で進めるジビエの未来開拓事業～シカ肉の魅力をもっと多くの人に～	管内の2箇所でニホンジカの捕獲から消費（試食）までの流れを試験的に実施し、今後のジビエ振興に向けた方向性や具体的な取り組みを進める。	844	捕獲から消費までの流れを試験的に実施し、関係者との連携や課題、今後進めるべき施設整備などジビエ振興に向けた方向性を探った。2会場で開催した試食会では目標の40名を上回り、約60名が参加し、ジビエの方向性を意見交換するとともに、シカの解体実演等を通してジビエへの理解を深める契機とすることができた。	林務課
	世代別健康に配慮したメニュー開発・普及	ライフステージの健康等の課題に応じた健康に配慮した料理を地域の食材を活用して開発・普及する。	332	栄養士会に委託して「働き盛り世代」を対象とした健康に配慮した料理を4日分（春夏秋冬）開発しレシピとしてまとめることができた。市町村、健康づくり関係機関等の会議で開発メニューの周知を図り、食を通じた健康づくりについて課題や意識を共有することができた。	保健福祉事務所健康づくり支援課
	農業資産の魅力発信プラットフォーム構築事業	疎水（農用用水）、棚田、ため池など農業資産の魅力を発信するとともに観光資源等として活用するためのプラットフォーム（魅力発信の基盤）を構築し、プラットフォームを活用した有効な情報発信を行う。	918	農業資産の魅力発信を行うプラットフォームのコンテンツとして、疎水、棚田、ため池といった農業資産等のPR動画「水と巡る信州上田地域の旅」を制作し、HPへの掲載や施設管理者等に配布することで、農業資産のPR活動での活用を進めた。	農地整備課

課題区分	事業名	事業概要	事業費 (千円)	実績・成果	担当課
横断的な 課題	信州カラマツ材 を活用した観光 発信力の強化	上小地区のSGEC森林認証森林から生産された信州カラマツを利用して、観光案内用のウェルカムボードを作成する。ボードを道の駅や農産物直売所の専用コーナーに設置し信州DCに係る情報の発信力を強化し、地域の気運醸成を図るとともに、地域材の利用促進を図る。	77	SGEC森林認証森林から生産された信州カラマツを利用した観光案内用のウェルカムボードを40枚作成し、道の駅6箇所、農産物直売所11箇所、観光案内所1箇所のほか、市町村・観光協会等に配布し、各施設の観光情報コーナー等に設置した。DC期間中に県内外から訪れた観光客に対する観光や地域材のPRの一翼を担った。	商工観光課
その他	若者の移住・定 住促進策の研究	上田地域内の産学官金連携の組織と協働し、若者の移住・定住を促進するために必要な創業・就業支援や環境整備等について研究する。	436	上田地域内の産学官金連携の組織と協働し、若者の移住・定住を促進するため、学生によるアンケートの企画、意識調査及び企業等が求める人材についての聞き取り調査を実施した。また、調査報告及び意見交換の場を設け、産業界の代表者、自治体、支援機関、大学関係者等が参加し、意識と情報の共有が図られた。	企画振興課 商工観光課
	フォレコンin信 州うえだ（フォ レストコンパ）	森林に関わるものを使った活動を通じて婚活を行い、上小地域や林業に興味を持ってもらうことで、林業への就職や上小地域への定住につなげる。	279	若者に森林・林業に関わることの魅力を伝え、林業就業者を増やすことと林業就業者との出会いを促すことを目的に、繭玉や薪といった森林に関わる物を活用した体験活動を実施し、林業に親しんでもらうことができた。	林務課
	鳥獣被害監視シ ステムの構築～ 携帯電話回線 を利用したわな 従事者の負担軽減 対策～	有害鳥獣捕獲対策について、従事者の高齢化に対し、わなの見回りなど労働負担の軽減を図るために、携帯電話回線を利用した監視システムを構築し、地域に普及する。	347	センサーカメラの画像が回線により猟友会や市町村関係者へ配信されることで、見回りの軽減につなげることができた。また、画像の配信により鳥獣の種類や群れの出没状況の把握が可能となり、市町村には被害対策のデータの提供、猟友会には効率的な捕獲への情報提供となることがわかった。	林務課
	上小地域「入退 院調整ルール」 普及促進事業	要介護・要支援患者の円滑な在宅移行に向けた関係者間の連携ルールの普及を図る。	98	上小地域「入退院調整ルール」をわかりやすく解説した啓発チラシを10,000部作成し、医療・介護関係機関のほか、ケアマネジャーを介して患者等一般県民にも配布しルールの普及・定着を図った。上小地域医療・介護連携推進研究会でのチラシ案の検討を通じ、関係者の意識向上に資するとともに、チラシの配布を通じて幅広くルール周知を図ることができた。	保健福祉事 務所福祉課
合 計			8,030		